

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公表番号】特表2008-507255(P2008-507255A)

【公表日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-010

【出願番号】特願2007-503099(P2007-503099)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 31/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 P 31/14 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 16/46

C 0 7 K 19/00

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 A

C 1 2 N 5/00 B

C 1 2 P 21/08

C 1 2 Q 1/68 A

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K	39/395	S
A 6 1 K	39/395	T
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	43/00	1 2 1
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	37/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	25/00	1 0 1
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	31/18	
A 6 1 P	31/14	
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/574	A

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月11日(2008.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

単離された抗体またはそのフラグメントであって、配列番号 72 もしくは配列番号 76 の V H ドメインのアミノ酸配列と；配列番号 80 の V L ドメインのアミノ酸配列と；を含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の抗体またはそのフラグメントであって、配列番号 72 の V H ドメインのアミノ酸配列と；配列番号 80 の V L ドメインのアミノ酸配列と；を含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の抗体またはそのフラグメントであって、配列番号 76 の V H ドメインのアミノ酸配列と；配列番号 80 の V L ドメインのアミノ酸配列と；を含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントであって、前記 V H ドメインのアミノ酸配列に融合しているか、前記 V L ドメインのアミノ酸配列に融合しているか、または前記 V H ドメインおよび V L ドメインの両方のアミノ酸配列に融合している、配列番号 84 もしくは配列番号 85 のアミノ酸配列；をさらに含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 5】

単離された抗体またはそのフラグメントであって、

配列番号 72 もしくは配列番号 76 のアミノ酸残基 26 ~ 35、50 ~ 66、および 99 ~ 114 のアミノ酸配列と；

配列番号 80 のアミノ酸残基 24 ~ 34、50 ~ 56、および 89 ~ 97 のアミノ酸配列と；

を含み、

該抗体またはそのフラグメントは、Gタンパク質ケモカインレセプター（CCR5）に免疫特異的に結合する、

抗体またはそのフラグメント。

【請求項 6】

Fab フラグメント、Fab' フラグメント、F(ab')₂、Fd、単鎖 Fv、またはジスルフィド結合された Fv である、請求項 1 ~ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

免疫グロブリン重鎖定常ドメイン

をさらに含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

前記ヒト免疫グロブリン重鎖定常ドメインは、IgG1 定常ドメイン、IgG2 定常ドメイン、IgG3 定常ドメイン、および IgG4 定常ドメインからなる群より選択される

、
抗体またはそのフラグメント。

【請求項 9】

請求項 7 または 8 に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

前記免疫グロブリン重鎖定常ドメインは、ヒト免疫グロブリン重鎖定常ドメインである

、
抗体またはそのフラグメント。

【請求項 10】

請求項 1 ~ 9 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

免疫グロブリン 軽鎖定常ドメインまたは免疫グロブリン 軽鎖定常ドメイン；

をさらに含む、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

前記免疫グロブリン軽鎖定常ドメインは、ヒト免疫グロブリン軽鎖定常ドメインである

、
抗体またはそのフラグメント。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

前記 VH ドメインのアミノ酸配列は、配列番号 81 のアミノ酸配列に融合しており、前記 VL ドメインのアミノ酸配列は、配列番号 83 のアミノ酸配列に融合している、
抗体またはそのフラグメント。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 4 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントであって、

前記 VH ドメインのアミノ酸配列は、配列番号 82 のアミノ酸配列に融合しており、前記 VL ドメインのアミノ酸配列は、配列番号 83 のアミノ酸配列に融合している、
抗体またはそのフラグメント。

【請求項 14】

モノクローナル抗体である、請求項 1 ~ 13 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 15】

ヒト抗体である、請求項 1 ～ 13 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 16】

キメラ抗体またはヒト化抗体である、請求項 1 ～ 13 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 17】

G タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) のアンタゴニストである、請求項 1 ～ 16 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 18】

G タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) 発現細胞への HIV の結合および / または G タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) 発現細胞の HIV 感染を阻害することが可能である、請求項 1 ～ 17 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメント。

【請求項 19】

ATCC 受託番号 PTA - 5859 または ATCC 受託番号 PTA - 5861 として寄託された細胞株によって発現される、抗体。

【請求項 20】

ATCC 受託番号 PTA - 5859 または ATCC 受託番号 PTA - 5861 として寄託される、細胞株。

【請求項 21】

2 つのポリヌクレオチドを含む単離された DNA 組成物または RNA 組成物であって、
第 1 のポリヌクレオチドは、請求項 1 ～ 3 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントの VH ドメインをコードし、

第 2 のポリヌクレオチドは、請求項 1 ～ 3 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントの VL ドメインをコードする、
DNA 組成物または RNA 組成物。

【請求項 22】

請求項 21 に記載の DNA 組成物または RNA 組成物であって、

前記第 1 のポリヌクレオチドと第 2 のポリヌクレオチドとは、単一の核酸分子中に含まれる、

DNA 組成物または RNA 組成物。

【請求項 23】

請求項 22 に記載の DNA 組成物または RNA 組成物を含む、ベクター。

【請求項 24】

請求項 21 に記載の DNA 組成物または RNA 組成物を含む、宿主細胞。

【請求項 25】

請求項 1 ～ 16 のうちのいずれか 1 項に記載の抗体またはそのフラグメントを発現するように操作された、単離された細胞。

【請求項 26】

NSO 細胞または CHO 細胞である、請求項 25 に記載の細胞。

【請求項 27】

請求項 24 ～ 26 のうちのいずれか 1 項に記載の細胞からの発現によって得られる、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 28】

抗体またはそのフラグメントを生成するための方法であって、

(a) 請求項 21 に記載の DNA 組成物または RNA 組成物によりコードされる VH ドメインおよび VL ドメインを発現させる工程 ; ならびに

(b) 該 VH ドメインおよび VL ドメインを含む抗体またはそのフラグメントを回収する工程 ;

を包含する、方法。

【請求項 29】

請求項 28 に記載の方法により得られる、抗体またはそのフラグメント。

【請求項 30】

クローン病、乾癬、HIV 乾癬、もしくは固形腫瘍の処置用または器官移植片拒絶の予防の薬学的組成物の調製のための、請求項 1～19、27、もしくは29のうちのいずれか1項に記載の抗体またはそのフラグメントの使用。

【請求項 31】

請求項 30 に記載の使用であって、前記薬学的組成物がヒトにおける投与用であることを特徴とする、使用。

【請求項 32】

請求項 30 または 31 のうちのいずれか1項に記載の使用であって、
前記薬学的組成物が抗レトロウイルス剤または化学療法剤をさらに含む、
使用。

【請求項 33】

G タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) ポリペプチドの発現を検出するための方法であって、

(a) 請求項 1～19、27、もしくは29のうちのいずれか1項に記載の抗体またはそのフラグメントを使用して、個体由来の生物学的サンプルにおけるG タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) ポリペプチドの発現をアッセイする工程；および

(b) G タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) ポリペプチドのレベルを、標準のG タンパク質ケモカインレセプター (CCR5) ポリペプチドレベルと比較する工程；
を包含する、方法。

【請求項 34】

クローン病、乾癬、HIV 乾癬、もしくは固形腫瘍の処置用または器官移植片拒絶の予防の薬学的組成物であって、

請求項 1～19、27、もしくは29のうちのいずれか1項に記載の抗体またはそのフラグメント；
を含む、薬学的組成物。

【請求項 35】

ヒトにおける投与用であることを特徴とする、請求項 34 に記載の薬学的組成物。

【請求項 36】

抗レトロウイルス剤または化学療法剤；
をさらに含む、請求項 34 または 35 のうちのいずれか1項に記載の薬学的組成物。